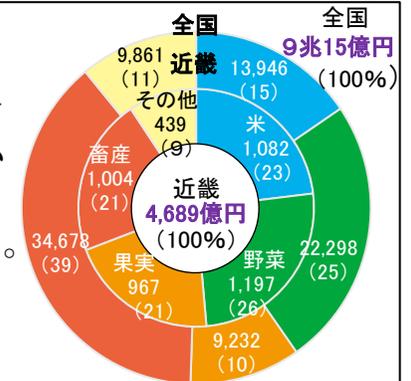


近畿農政局

1. 近畿の農林水産業の概況について

- ① 近畿管内の各府県では、**地域の特色を活かした多様な農業を展開**（滋賀の環境保全型農業、京都のブランド野菜、大阪の都市近郊農業、兵庫の但馬牛・酒米、奈良の小菊・柿、和歌山のみかん・梅など）。
- ② 農業産出額は4,689億円（全国の約5%）。このうち果実は、967億円で全国の1割強を占める。



2. 地域の課題に対する地方農政局等の取組について

① 都市住民と農業との関わりを深める取組

近畿の農業や農村が持つ魅力を伝え、農業に関わる人を増やすため、ホームページに、体験する・見る・楽しむ・食べることができる**農林漁業体験施設**を紹介するポータルサイト「ふれてみませんか？農業に」を開発するとともに、地域の農山漁村で活動する企業や大学生の取組み、企業の農業参入事例を紹介。



【近畿農政局ホームページ ポータルサイト】

② 小売・流通業者との連携によるみどり戦略の推進

局内に「みどりの食料システム戦略推進プロジェクトチーム」を発足させ、その一環として、**府縣市町村や生産者団体だけでなく、量販店や食品企業といった実需者の参加を得て、双方の取引関係の構築に向けた、現地での検討会やマッチング支援**に取り組んでいるところ。

本年9月、管内府県や生産者と連携し、商談会「フードストアソリューションズフェア」において、小売・流通業者に対しみどり戦略をPR。



【淡路市での現地検討会】



【フードストアソリューションズフェア内のみどり戦略コーナーの展示】

③ 大阪・関西万博に向けた取組

農泊地域へのインバウンド誘客を図る**旅行商品の造成・販売**に加え、世界農業遺産等を巡る「**“推しルート”発掘プロジェクト**」を若手職員とともに実施中。

また、関西ならではの食や食文化について国内外へ広く伝える活動を募集し、申請された活動は第三者の審査を経て、「**関西 食の『わ』プログラム**」として認定。



【遺産コンテンツを巡る新たな観光ルート（推しルート）を発掘・選定】



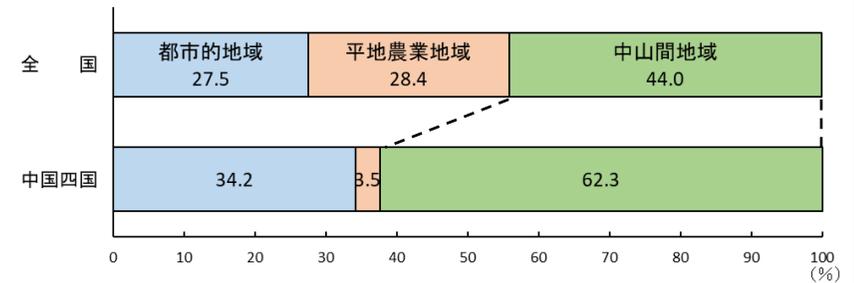
【関西 食の『わ』プロジェクト（近畿農政局ホームページ）

中国四国農政局

1. 中国四国の農林水産業の概況について

- ① 農業産出額は8,960億円（全国の約1割）で、中国地域では畜産物、野菜、米、四国地域では野菜、畜産物、果樹の順に高い。
- ② 耕地面積は34.7万ha（全国の約8%）で、中山間地域の占める割合は約6割（全国は約4割）。基幹的農業従事者の平均年齢は71.4歳（全国68.7歳）。

耕地面積に占める中山間地域の割合（令和5年）



2. 地域の課題に対する地方農政局等の取組について

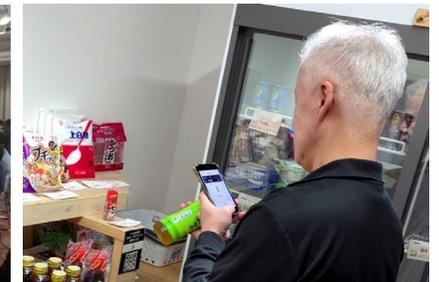
① 農村RMO（農村型地域運営組織）の形成推進

農村RMOモデル形成支援について、県拠点と連携した現場情報の収集・掘り起こしや、フォーラムの開催等の地域への働きかけにより、実施地区は9月末時点で、管内25地区（全国の約3割）。

実施地区の一つである吉縁起村（岡山県真庭市）は、スイオウ（茎葉利用サツマイモ）を用いた特産品（茶、クッキー）の開発や、無人キャッシュレスのスマートストアの運営を実施。



【農村RMOフォーラム】



【スマートストアの実施状況】

中国四国農政局

「みえるらべる」に取り組んでいる（農業者/団体）皆さん 令和6年度登録

② みどり戦略の推進（「みえるらべる」の取組）

温室効果ガス削減への貢献の度合いを表示する「みえるらべる」の推進には、販売業者等や消費者の理解醸成が重要。広島県拠点では、販売業者等への周知・意見交換に加え、県内の「みえるらべる」の取組事例を地図にして、ホームページで紹介し、広く情報発信。



【ホームページで紹介】



【取組事例を掲載】

③ 大学との連携

本年7月、連携協定を締結している岡山大学と、食料安全保障について理解を深めてもらうため、本省幹部の講演、局長参加のパネルディスカッション等を内容とする食料安全保障シンポジウムを開催（約250名が参加）。同月、来年4月に農業関係の学科を新設する安田女子大学（広島市）と新たに連携協定を締結。

来年2月には、同じく連携協定を締結している愛媛大学と改正基本法に関するシンポジウムを開催予定。



【食料安全保障シンポジウム】



【安田女子大学との協定締結式】

九州農政局

1. 九州の農林水産業の概況について

- 九州は「全国の1割経済」といわれる中、農業産出額は1兆8,208億円で全国の約2割(20.2%)
- 昭和40年と比較し、野菜、畜産が大幅に増加。一方、米は大幅に減少。

2. 地域の課題に対する地方農政局等の取組について

① 家畜伝染病の防疫対策の強化（アフリカ豚熱、豚熱）

韓国釜山港近郊でアフリカ豚熱に感染した野生いのししを確認。令和6年2～3月、韓国人旅行客がプレーするゴルフ場にポスター掲示等の注意喚起を依頼。

令和6年5月、九州で初めて野生いのししの豚熱感染を佐賀県唐津市で確認。佐賀県が実施する経口ワクチン散布に、獣医師の資格を有する職員を派遣。



【豚熱の経口ワクチン散布作業】

② フードバンクでの活動体験を通じた若手職員の人材育成

こども食堂等に食料品を提供するフードバンクの取組を農政局若手職員が体験。食料品の搬入等の活動を通じ、経済的困窮者を取り巻く現状や課題等に対し理解を深めた。



【団体での活動体験】

③ 農業用水の確保（国営かんがい排水事業の実施）

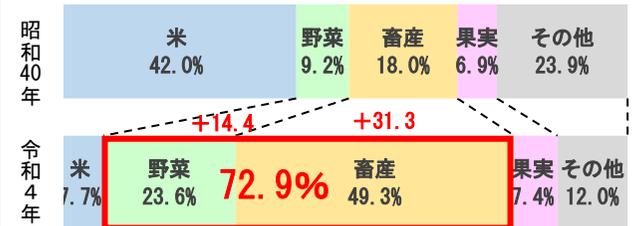
沖永良部島は隆起珊瑚礁で形成され、農業用水の確保が困難。新規に国営かんがい排水事業を実施し、地下ダム等の整備にあわせ、関連事業でかんがい施設の整備等を行い、農業用水の安定的な確保を図る。

波浪及び台風による農作物（花卉類及びサトウキビ）の塩害に対し、本事業で整備した施設の農業用水を活用した除塩対策が行われ、農作物の被害軽減に寄与。

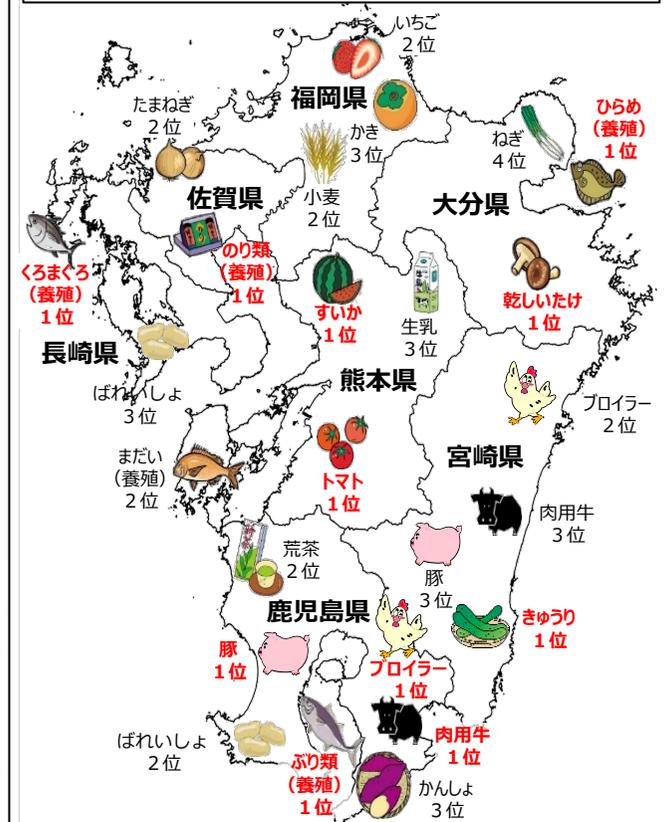


【ゆりの生育状況】

令和4年と昭和40年農業産出額の構成割合の比較



産出額が全国順位で上位の主要品目



出典: 農林水産省「令和4年生産農業所得統計」、「令和4年林業産出額」、「令和4年漁業産出額」